

学校評価に係わる「教育アンケート(後期)」のお礼と結果のお知らせ

季節は少しずつ冬の厳しさが和らいでいく気配も感じられますが、まだまだコロナウイルス感染予防についての気の抜けない日々が続く今日この頃です。保護者の皆様におかれましては何かがお過ごしでしょうか。平素は本校教育に対しまして温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、このたびお世話になりました「教育アンケート(後期)」では、お忙しい中ご回答いただきありがとうございます。その結果についてご報告させていただきます。数値はあくまでも全校生や全保護者の平均値ですので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

なお、今回の結果を全職員で共有し検討しながら、来年度の教育活動の参考にさせていただきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申上げます。

※表の中の「生徒」は全校生を意味し、「保護者」は全校生の保護者(アンケートにご協力いただいた保護者)を意味します。

## 令和2年度篠山市立篠山東中学校「学校評価」まとめ(後期)

### 分野①「確かな学力」

対象	分野	質問内容	前々回 (昨年度後期)		前回 (今年度前期)		(令和2年度後期)							
			指数順位	平均指数	指数順位	平均指数	指数順位	平均指数	% (4)	% (3)	あてはまる	% (2)	% (1)	てなはいはまらあ
生徒	「確かな学力」	授業は工夫されており、分かりやすい。 ペア学習やグループ学習の話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている。 授業の最初に「めあて」が示され、最後には「ふりかえり」がされている。 平日(月～金)において、学校が目指している各学年の時間(1年1時間45分以上、2年生2時間以上、3年生2時間15分以上)、家庭学習をしている。※塾での学習も含める。 毎日、自主学習ノートに取り組んでいる。 授業でわからないことは、休み時間、放課後の学習会などを通して、先生がいてねいに教えてくれる。 学校は、授業を工夫し、分かりやすい授業をしている。 学校は、ペア学習やグループ学習などの話し合う活動を授業に取り入れ、学習内容がよく理解できるようにしている。 お子様は、平日(月～金)、学校が目指している各学年の時間(1年1時間45分以上、2年生2時間以上、3年生2時間15分以上)、家庭学習ができています。 ※塾での学習も含める。 お子様は、毎日、自主学習ノートに取り組んでいる。 お子様が、授業でわからなかったことを、休み時間、木曜日の放課後などを通して、教えてもらおう機会がある。	8	3.52	9	3.42	12	3.33	36.2%	61.7%	97.9%	1.1%	1.1%	2.1%
			7	3.55	11	3.31	7	3.55	61.3%	32.3%	93.5%	6.5%	0.0%	6.5%
			16	3.03	15	3.10	17	3.02	24.5%	55.3%	79.8%	18.1%	2.1%	20.2%
			17	2.88	18	2.79	18	2.94	29.8%	42.6%	72.3%	19.1%	8.5%	27.7%
			5	3.71	5	3.56	2	3.66	74.2%	19.4%	93.5%	4.3%	2.2%	6.5%
			18	2.83	17	3.01	15	3.15	37.2%	46.8%	84.0%	9.6%	6.4%	16.0%
			11	3.16	12	3.12	14	3.10	20.0%	70.6%	90.6%	8.2%	1.2%	9.4%
			9	3.23	13	3.08	9	3.22	28.2%	64.7%	92.9%	7.1%	0.0%	7.1%
			17	2.68	17	2.81	18	2.73	15.7%	48.3%	64.0%	29.2%	6.7%	36.0%
			7	3.33	6	3.48	8	3.30	49.4%	31.5%	80.9%	19.1%	0.0%	19.1%
18	2.60	18	2.62	17	2.78	18.6%	44.2%	62.8%	33.7%	3.5%	37.2%			

### 考察

生徒の4項目、保護者の3項目にあたる「家庭学習の定着」の問題については、「生徒」「保護者」共にこの分野の中では最も低い数値となっており、以前からの課題である。今一度、家庭学習の必要性を考え直し、必要であれば生徒自身が意欲を持って自ら取り組む家庭学習のあり方について学校・家庭において模索していく必要があると考える。また生徒の3項目にあたる授業の「めあて」「ふりかえり」については生徒の意識として、今回を含めた過去3回の数値の中では最も低い値を示しており、学校側が改めてその意義について考え、着実に実行できるように努める必要がある。反面、生徒・保護者共に最後の項目である「授業でのわからないことをいねいに教えてもらえない」というのはまだまだ数値的には低い「生徒」「保護者」共に上昇傾向にあり、今後も積極的な関わりを継続していく必要性があると考え。

### 分野②「やさしい心」

対象	分野	質問内容	前々回 (昨年度後期)		前回 (今年度前期)		(令和2年度後期)							
			指数順位	平均指数	指数順位	平均指数	指数順位	平均指数	% (4)	% (3)	あてはまる	% (2)	% (1)	あてはまらい
生徒	「やさしい心」	「いじめ」を受けたり、見たり、聞いたりすると、だれかに相談する。 道徳の時間にしっかり考えることができている。 自分は篠山が好きで、誇りを持っている。	6	3.60	6	3.52	8	3.53	66.7%	20.4%	87.1%	11.8%	1.1%	12.9%
			4	3.71	3	3.64	4	3.64	67.0%	29.8%	96.8%	3.2%	0.0%	3.2%
			12	3.26	10	3.34	14	3.27	45.7%	37.2%	83.0%	13.8%	3.2%	17.0%
保護者	「やさしい心」	お子様は、「いじめ」を受けたり、見たり、聞いたりすると、だれかに相談する。 お子様は、人が困っていたら、進んで助けたり手伝ったりすることができる。 お子様は、「篠山」が好きで、郷土愛を持っている。	10	3.21	11	3.15	12	3.18	35.6%	50.0%	85.6%	11.1%	3.3%	14.4%
			8	3.32	8	3.27	7	3.32	36.7%	58.9%	95.6%	4.4%	0.0%	4.4%
			14	3.01	10	3.15	15	3.07	28.1%	55.1%	83.1%	12.4%	4.5%	16.9%

### 考察

毎回の傾向ではあるが生徒・保護者共に最後の項目である「郷土」「ふるさと」に対する意識の値が依然として低くなっている。各地域学校の教育目標の一つがこれからの地元地域を担っていく人材の育成とすれば、「郷土」「ふるさと」に愛着が持てる手立てを学校・家庭で熟考する必要があると考える。その他の部分については気になる低い数値や大きな数値の変化は無く、どれも高い値を示している。

### 分野③「たくましい心と体」

対象	分野	質問内容	前々回 (昨年度後期)		前回 (今年度前期)		(令和2年度後期)							
			指数 順位	平均 指数	指数 順位	平均 指数	平均 指数	指数 順位	% (3)	% (4)	% (3)	% (2)	% (1)	あ て は ま ら い
生徒	「たくましい心と体」	自分にはよいところがある。 学校に行くのが楽しい。 先生は悩みや思いをしっかっ聞いてくれる。 家庭内や地域の中で、よくあいさつをしている。 学校内や登下校中、安全に気をつけている。 社会のルールや学校の生活の心得を意識して生活をしている。 家庭内では親子でよく話をしている。 (部活動)に入部している生徒に尋ねます。入部していない生徒は空白で結構です) 部活動に意欲的に取り組んでいる。 情報機器(自分や家族の携帯・スマホ・コンピュータなど)の使い方について、家庭で約束が決められており、守っている。	15	3.06	16	3.02	16	3.09	35.1%	42.6%	77.7%	18.1%	4.3%	22.3%
			11	3.28	12	3.25	10	3.45	55.3%	37.2%	92.6%	4.3%	3.2%	7.4%
			13	3.21	13	3.22	11	3.39	51.1%	39.4%	90.4%	7.4%	2.1%	9.6%
			2	3.73	4	3.57	3	3.65	71.3%	23.4%	94.7%	4.3%	1.1%	5.3%
			3	3.72	1	3.75	1	3.76	80.9%	16.0%	96.8%	2.1%	1.1%	3.2%
			9	3.43	8	3.46	9	3.51	56.4%	39.4%	95.7%	3.2%	1.1%	4.3%
			10	3.41	7	3.51	5	3.63	72.3%	17.0%	89.4%	10.6%	0.0%	10.6%
			1	3.81	2	3.70	6	3.63	68.4%	26.3%	94.7%	5.3%	0.0%	5.3%
			14	3.18	14	3.12	13	3.27	45.7%	37.2%	83.0%	14.9%	2.1%	17.0%
			6	3.44	3	3.56	6	3.36	50.0%	37.8%	87.8%	10.0%	2.2%	12.2%
保護者	「たくましい心と体」	学校は、子どもの悩みや思いを聞いてくれる。 お子様は、家庭や地域の中であいさつをしている。 お子様は、登下校中など、安全に気をつけている。 お子様は、学校に楽しく行っている。 家庭内では親子でよく対話している。 お子様が現在、部活動に入部・活動している方につねに尋ねます。 お子様は、部活動に意欲的に取り組んでいる。 情報機器(子ども本人のもの、家族のもの、一般的なもの)の使い方について、家庭で約束を決め、お子様に守らせている。	15	2.94	16	3.00	16	2.97	21.8%	57.5%	79.3%	17.2%	3.4%	20.7%
			2	3.52	7	3.48	4	3.47	53.3%	40.0%	93.3%	6.7%	0.0%	6.7%
			3	3.51	5	3.54	3	3.48	50.0%	47.8%	97.8%	2.2%	0.0%	2.2%
			1	3.53	2	3.62	2	3.49	51.1%	46.7%	97.8%	2.2%	0.0%	2.2%
			4	3.50	4	3.54	5	3.47	53.3%	40.0%	93.3%	6.7%	0.0%	6.7%
			5	3.50	1	3.71	1	3.70	70.7%	27.6%	98.3%	1.7%	0.0%	1.7%
16	2.91	14	3.06	13	3.11	33.3%	47.8%	81.1%	15.6%	3.3%	18.9%			

#### 考察

この分野で毎回気になる項目が「生徒」欄の1番上にある「自分にはよいところがある」という項目で、今回も「あまりありてはまらない」「まったくあてはまらない」を合わせた数値が22.3%となった。これは「自尊感情」が低いことだが、その原因として、講述しての回答ということも考えられるが、それを推しても主体的に自らの良さを引き出そうとしたり、主体的にチャレンジしようとする意欲を持たせることは大切なことである。失敗しながらでも前向きに取り組むことで自らの良さが感じられるような取り組みが学校・家庭では必要だと考える。また、教員・少数教員はあてはまらない項目「学校に行くのが楽しい」、3項目「先生は悩みや思いをしっかっ聞いてくれる」という内容において「まったくあてはまらない」と回答している生徒が数名存在していることは学校・家庭で認識しておく必要がある。最後に、今回のアンケートでこの項目の特長な傾向として「生徒」の値がほぼ前回を上回っていたり、中にはここ3回の中で一番高い数値を素しているのに対して「保護者」の値がほぼ前回を下回りここ3回の中で最も低い数値を表しているものもあった。この原因についてははっきりとしないが、子どもの意識と保護者の意識の中に何らかのズレが生じているということが考えられる。

### 分野④「連携・協働」

対象	分野	質問内容	前々回 (昨年度後期)		前回 (今年度前期)		(令和2年度後期)							
			指数 順位	平均 指数	指数 順位	平均 指数	平均 指数	指数 順位	% (3)	% (4)	% (3)	% (2)	% (1)	あ て は ま ら い
保護者	「連携・協働」	学校だより、学級だより、保健だより、ホームページなどを通して、学校の様子がよく分かる。 学校は、保護者や地域の意見を真摯に受け止め、連携を積極的に進めている。	12	3.10	9	3.19	11	3.18	28.9%	60.0%	88.9%	11.1%	0.0%	11.1%
			13	3.07	15	3.01	10	3.20	32.6%	57.3%	89.9%	7.9%	2.2%	10.1%

#### 考察

「保護者」が回答した項目の中で「学校だより、学級だより、保健だより、ホームページなどを通して、学校の様子がよく分かる。」という項目は「あまりありてはまらない」「まったくあてはまらない」という数値が11.1%。「学校は、保護者や地域の意見を真摯に受け止め、連携を積極的に進めている。」という項目の「あてはまらない」が10.1%とどちらも1割強が問題視していることを学校側としては認識しておく必要がある。